



実りある研究・研修に！

5月の下野市学校教育サポートセンターの巡回相談では、大変お世話になりました。各学校を訪問させていただき、先生方が子どもたちの実態に寄り添い、日々、指導・支援をしてくださっていることを改めて感じることができました。



さて、6月は校外での研究・研修が益々本格化していくことと思います。5月下旬に、子ども未来プロジェクト生徒交流会を3年ぶりに対面で開催することができました。まだまだ、感染対策に配慮しながらではありますが、今後も、皆様と顔を合わせての研修会を行っていただくと考えております。子どもたちのため、先生方のためになる、実りある研究・研修になるように、教育研究所も努めてまいります。

先生方の笑顔は、子どもたちの元気につながります。梅雨入りし、疲れも出てくる時期かもしれません。健康管理には十分留意され、子どもたちの指導にあたっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

【6月の予定】



- ※ 6月1日現在の予定です。詳細は文書でご確認ください。
- ※ 時間のみ記載の研修会の場所は、下野市役所です。
- ※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
			1 要請訪問(細谷小) 小中一貫の日(国中区)	2	3 教科書選定委員会 ①14:00～ 県中学校春季体育大会(～5日)	4
5	6 特別支援コーディネーター研修 15:00～	7 市児童・生徒指導研修会 14:00～	8 小中一貫の日(石中区) 市スクールアシスタント研修(介助)15:00～	9 市教頭研修会 14:00～ 下地区初任者研修会(間々田小・大谷中)13:00～	10 栄養教諭・学校栄養職員研修会(給食センター)13:30～ 市体力向上研究会①15:00～ 教育課程事前研修会①16:45～ 教科書展示会(南河内図書館)～26日	11
12 県PTA連合会総会(教育会館)	13 幼小連絡協議会総会・第1回研修会 15:00～	14 下野市新聞の日① S&U(石橋中) 道徳研究会①15:30～ 教育課程事前研修会②16:45～	15 栃木県民の日	16 学級指導支援助手研修(細谷小) 下地区言語障害通級担当研修(下庁舎)	17	18
19	20 S&U(石小) 特別支援教育推進研究②	21 定例教育委員会 市社会科副読本活用研究会②14:00～	22 S&U(緑小・石北小)	23 下地区臨時採用教員研修会(吹上小)13:20～	24	25
26 	27	28 小中一貫の日(二中区)	29 市定例校長会議③ 9:00～ S&U(国小・国東小) 要請訪問(祇園小)	30 学力向上担当者研修 14:00～ 特別支援教育研究会(佐野文化会館)14:00～		

学習指導法研修会(第1回)が開催されました

5月12日(木)下野市役所にて「学習指導法研修会(第1回)」を開催しました。新学習指導要領が全面実施となり、小学校では2年、中学校では1年が経過し、各校では授業改善に向けた様々な取組がなされていることと思います。本研修では、各教科(国語・社会・算数・理科)における知識・技能を問う学習活動と思考・判断・表現を問う学習活動の違いを確認したり、主体的に学習に取り組む態度の評価と、それを育むための学習活動の在り方について考えたりすることを通して、新学習指導要領が求める資質・能力の育成を目指した授業づくりについて考えました。

3

自主的、自発的な学習を促すこと

- ・ 選択の機会を与える例
「〇〇を使って解いてみよう」指示を与える
→「今まで習ったことを使って、解決してみよう」
= 自己決定の場を与える
- ・ 学習を調整する場を与える例
自分の考えを持たせた後に、友達との対話場面を作ることで自分の考えが変化する。 = 対話的な学びを充実させること
自分一人ではできなかったことが、友達と協働して取り組むことで達成することができる。 = 学びの質を高めること

指導の変化
(子どもにゆだねる)

➔

学びの変化
(学びの姿が変わる)

16

また、主体的に学習に取り組む態度については、評価の難しさを感じている先生方が多かったようです。評価のためには、子どもたちの自主的、自発的な学習を促すような指導の変化が必要になってくることを先生方と確認しました。



研修に参加された先生方の感想

- ・ 評価場面や評価方法等について、校内で検討していきたい。
- ・ 3つの資質・能力を育てるための評価ができていたか、また、指導と評価の整合性が取れていたか見直す視点が分かった。
- ・ 子どもたちに選択の機会を与える、対話の場面を設ける、振り返りの仕方を工夫するなどして、自主的で自発的な学習につなげられるようにしたい。
- ・ 主体的に学習に取り組む態度の評価は難しい。子どもに委ねるような活動がないとそうした見取りができる場面がないのではないかと感じた。

食物アレルギー研修会

5月19日(木)国分寺小学校にて、グリムこどもとアレルギーのクリニック院長 福田典正先生を講師にお迎えして「学校給食と食物アレルギー研修会」を開催しました。

研修前半は、症状から見た食物アレルギーとアナフィラキシーとの違いやエピペン®適用の判断となる症状などについて具体的なお話をいただきました。後半は、エピペン®トレーナーを使用し、緊急時の対応について実習を行いました。

「今まで食物アレルギーを発症したことのない児童生徒が、給食後に食物アレルギーを新規発症することは珍しいことではない」とのお話を受け、会場の先生方も、緊張感をもって福田先生のお話に耳を傾けていました。

先生方におかれましては、定期的に市のマニュアルやマニュアル概要版をご覧いただき、食物アレルギーの対応の流れについてご確認ください。



下野市道徳教育研修会

5月27日(金)国分寺中学校にて、道徳教育研修会を開催しました。福田かおり先生に2学年の道徳科の授業をご提供いただきました。

授業では、郷土を愛し、伝統と文化を引き継ごうとする実践意欲を育てることをねらいとし、学区内にある史跡一里塚を題材として取り上げました。郷土に残る史跡の保存に努力した地域の人々の思いに気付くとともに、自分たちも郷土の伝統や文化を大切にしていきたいという思いを深めることができた様子が、生徒の発言等から感じられました。

授業研究会では、教材の提示や発問の工夫等により、生徒の思考を深めることにつながったことを確認しました。また、宇都宮大学の和井内教授から、地域教材を取り入れた教材作成や活用の仕方等についての講話をいただきました。

